

専大スポーツ

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 473

専大スポーツ 編集部 公式 WEB



掲載記事を含む全文はコチラ↑

X @sensuponow Instagram sensuponow

国際女子相撲選抜堺大会



個人準優勝の平口(左)と、団体ベスト8に貢献した河本

55kg未満級

平口 準優勝

初の団体戦はベスト8

4月12日、大阪府の大浜公園相撲場で行われた国際女子相撲選抜堺大会・個人戦の55kg未満級で、平口幸芽(経営1・静岡商高)が入学直後の国際大会で準優勝に輝いた。

戦目が一戦敗扱いとなるため、トーナメントを勝ち抜くには1敗も許されない状況で2チームを破り、ベスト8となった。平口は個人戦を「河本さんと一緒に稽古することで、自信が付き、これまでとは違う気持ちで挑むことができた」と振り返る。河本は大学初の団体戦に

ついて「平口と一緒に頑張っていて、ベスト8までいくことができて良かった」と率直な気持ちを語った。今後に向けて、河本は「もっと練習して、個人戦でも勝ち上がっていきたい」と話し、平口は「自分の相撲を取れるように頑張りたい。周りの人が見てすごいのと思うような相撲で優勝を目指したい」と目標を掲げた。(木田 辰一朗・人間科学3)

グレコ60kg級 廣田 2位 アジア選手権 出場権を獲得

JOCジュニアオリンピックカップ・全日本レスリング選手権大会 4月25日、横浜市・横浜武道館



豪快な投げ技を狙う廣田(左)

は、準決勝ではグラウンドの攻防で優位に立ち9-0で圧勝。決勝でテクニカルフォール負けを喫したが、「2年間練習してきた組み手を発揮できたと思う」と結果をポジティブに捉えている。「大学に入ってから全く試合で勝てていなかった」と苦しい2年間だったが、3年目の春にその実力が花開いた。「高校からレスリングを始めて、初めて全国大会で表彰台に立つことができ、とてもうれしい」と喜ぶ。初のアジアの舞台に向け、「日本代表というプレッシャーに負けず、自分の強みを出していきたい」と意気込んだ。

また、グレコ130kg級では、乾志音(経済2・土浦日大高)が3位に入賞した。(佐藤 佑樹・経済3 写真も)



熊谷 優勝

男子エペ個人

日本学生フェンシングカップ 4月24-26日、世田谷区・駒沢総合体育館

熊谷志孔(商3・北陸高)が男子エペ個人で見事、優勝した。得意とする守りのフェンシングを貫き通し、油断せず最後まで戦い続け頂点に立った。熊谷は「自分のフレーができたと思う。昨年の関東学生選手権に続く二つ目の個人タイトルを獲得できたので、次はインカレ優勝を狙う」と目標を語った。(作田 夏楓・文2)

女子S 専大対決制し島村が優勝



島村(左)と田の専大対決となった決勝戦 撮影=君嶋悠樹(経済3)

関東学生卓球新人選手権大会 5月4-6日、世田谷区・駒沢総合体育館

女子シングルスで島村果伶(文1・横浜隼人高)と田旻一(文1・桜丘高)が決勝に進出。専大対決を制した島村が優勝を果たした。決勝は両者一歩も譲らぬ展開となったが、最終ゲームで高速ラリーを制した島村が勝利した。島村が「厳しい試合が多かったが、勝ち切ることができてよかった」と笑顔で大会を振り返った。(大石 真碧・文3)

日大2回戦でヒットを放つ吉水 撮影=藤林利英(文3)



首位で折り返す

東都大学野球春季リーグ戦(2部)第2-3週 神奈川県・等々力球場ほか

専大は第2週で帝平大に8-5、10-0、第3週で日大に5-1、7-1で勝利し、開幕から無傷の6連勝。勝ち点を3に伸ばし、前半戦を終えて勝率の差で首位に立っている。

快勝した帝平大2回戦は、吉水真斗(経済4・松商学園高)、櫻井直道(文2・松商学園高)が本塁打を放ち、先発のマウンドを任された齋藤新太(経済3・松商学園高)が好投。吉水は「高校からずっと一緒にやってきたので、うれしかった」と後輩の活躍を喜んだ。ここまで打率5割の吉水をはじめ、各選手が好調を維持しており、優勝の期待が高まる。(小畑 祐人・文3)

専スポ記者が行く



開幕戦で攻守にわたって好プレーを見せた山下 撮影=君嶋

4月19日に関東学生ハンドボール春季リーグ戦(3部)が開幕した。専スポがハンドボール部の取材に赴くのは11年ぶり。競技経験者の私にとって念願の初取材だった。同部には、私が高校時代に東京都大会の決勝リーグで対戦した山下遼生(文2・昭和一学園高)がいる。国民スポーツ大会の東京都代表に選出された経験のある、フィジカルの強い選手だ。

ハンドボールを初取材 2部昇格への挑戦迫う

私は友人に誘われ、高校で競技を始めた。ケガで大学でのプレーを断念。自由な時間が増えて楽しい半面、競技への未練は増すばかりだった。そんな時、学部の友人に専スポに誘われ、二つ返事で入部した。国内でのメディア露出が少ないハンドボールの熱量を少し

でも伝えたかった。

「空中の格闘技、とも呼ばれるハンドボールは、空中での激しいフィジカルコンタクトが特色のスポーツだ。また、「全員攻撃、全員守備」が基本で、全員が走って、体を張って、パスをつなぐ。その延長線上に得点がある。ポジションにかかわらず、全員がヒーローになれる。専大は「攻撃のチームだ」と山下は語る。フィールドプレーヤー全員が得点を貪欲に狙い続けるチームスタイルだ。積極的な攻撃で悲願の2部昇格を達成することができるのか。その挑戦をペンとカメラを通して追いつけたい。(武田 慧一・法2)